

令和8年度 第1回 浅間小学校学校運営協議会 会議録(要点記録)

- 1 開催日時 令和8年5月13日(水) 午後2時15分から午後3時33分まで
- 2 開催場所 浅間小学校 南校舎2階 会議室
- 3 出席委員 鈴木 秀志、伊藤 元之、鈴木 明子、岡本 弥佐、川合 正二、河合 文恵
- 4 欠席委員 高橋 与人、市原 美智恵、岩崎 香織
- 5 オブザーバー 加藤 晴康(南部協働センター所長)
- 6 学校支援コーディネーター 鈴木 由紀、佐藤 穂
- 7 学 校 鈴木 啓二(校長)、高木 康泰(教頭)、宮崎 由季(教務主任、CS担当職員) 栗田 加奈(CSディレクター)
- 8 教育委員会 清水 悠(学校・地域連携課)
- 9 傍聴者 なし
- 10 会議録作成者 CSディレクター 栗田 加奈
- 11 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、鈴木会長より本日の議長を務めることの申し出があり、全員異議なくこれを承認した。

12 協議事項

- (1) 学校運営の基本方針について
- (2) いじめ防止基本方針について
- (3) 本年度の目標について
- (4) 夢育やらまいか事業CS加算分に対する意見書について

13 会議記録

司会の教頭から委員総数9人のうち6人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 学校運営の基本方針について

議長の指示により、校長から、別紙資料に基づき学校運営の基本方針についての説明があり、協議の結果全員意義なくこれを承認した。

また、委員からは以下の発言があった。

- ・教職員の負担は非常に大きいため、働き方改革によって負担が減るのは非常にいいことだと思う。(伊藤委員)
- ・ICTを使わなければいけないからという理由で無理にICTを活用するのではなくあくまで子供の理解を深めるためにどう使うかという視点を忘れないでほしい。(鈴木秀志委員)

(2) いじめ防止基本方針について

- ・学校への相談のハードルを低くし、些細な心配事でも学校に伝えて良いという雰囲気作りが早期発見に繋がるのではないかと。連絡帳などを活用し、日頃から学校と家

庭で子供の様子を伝え合うことが安心感に繋がり、いじめ防止の後押しになるのではないか。(岡本委員)

- ・いじめをゼロにする為の努力を継続しなければならない。また教育を学校任せにせず、家庭での努力も必要。(伊藤委員)
- ・安心して通えるような学校体制を作り、維持していくことがいじめの未然防止に繋がっていくと思う。(鈴木秀志委員)

(3) 本年度の目標について

- ・最近の子供たちを取り巻く環境の中で、困難に立ち向かい粘り強く自分を高めるたくましさを身につけられるといい。(鈴木明子委員)
- ・子どもがやりたいことや希望を持って進めるようにするには小さなことでも成功体験を積み重ね、自信を持たせることが大切。(川合委員)
- ・結果が出ればさらに上を目指し、結果が出なければ次の目標を立てるというサイクルを繰り返すことが重要である。(伊藤委員)

議長より、昨年度の自己評価を踏まえ、本年度の学校運営協議会の目標について以下の二点の提案があり、全員意義なくこれを承認した。

- 1 夢を持ち、諦めずに主体的に取り組む活動を充実していけるような話し合いをする。
- 2 学校と地域が連携し互いに信頼関係を築き、子供たちの学校生活がより豊かになるよう学校のニーズについて熟議する。

(4) 夢育やらまいか事業CS加算分に対する意見書について

- ・議長の指示により、教頭から夢育やらまいか事業に対する意見書について、地域の協働活動と6年生のキャリア活動の充実のために予算を使いたい旨の説明があった。

その他連絡事項

- ・次回開催について

教頭から今年度の学校運営協議会の年間開催予定日程の連絡があった。

次回議長選出について岡本委員を推挙する旨の発言があり、全員意義なくこれを承認した。